

各関係機関団体の長
各病虫害防除員 殿

福岡県農林業総合試験場長
(福岡県病虫害防除所)

平成29年度病虫害発生予察技術情報第12号について

このことについて、病虫害発生予察技術情報第12号(ナシ黒星病の秋季防除)を発表したので送付します。

本年のナシ黒星病は、発病葉の発生量は平年並でしたが、発生ほ場率は平年よりやや高く、一部ほ場では、昨年秋に感染した芽基部が感染源となり多発しました。翌年の発生抑制のため、本病発生の多少にかかわらず秋季の耕種的防除と薬剤防除を徹底するようご指導願います。

技術情報第12号

1 対象作物：ナシ

2 病虫害名：ナシ黒星病

3 発生状況

- (1) 本年のナシ黒星病の発生量は平年並で、発生ほ場率は平年よりやや高かった(図1)。
- (2) 一部ほ場では、昨年秋に感染した芽基部が感染源となり発病果が多発した(データ略)。

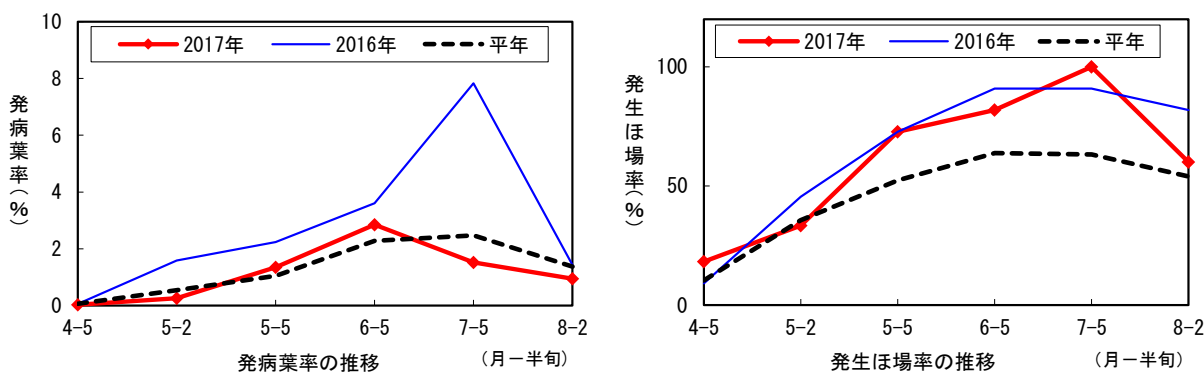


図1 ナシ黒星病の発生推移

4 防除対策

- (1) ナシ黒星病は秋季には、葉の裏面に薄いすす状の病斑(秋型病斑)を形成する。秋型病斑上の分生子は降雨によって腋芽に運ばれると、りん片生組織に感染し、翌春の伝染源になる。また、秋型病斑を形成した落葉も翌春の伝染源になる。(図2)。このため、本年のナシ黒星病発生の多少にかかわらず、以下の対策を実施する。
 - ① りん片生組織への感染を防ぐため、10月中旬から11月上旬に保護殺菌剤を2～3回散布する。
 - ② 園内の落葉は、園外への持ち出しや土中への埋没処理により適正に処分する。

(2) 秋季防除は、保護殺菌剤の適期散布で十分な効果を得られるため、薬剤耐性菌発生リスクの高いDMI剤やQoI剤の散布は控える。

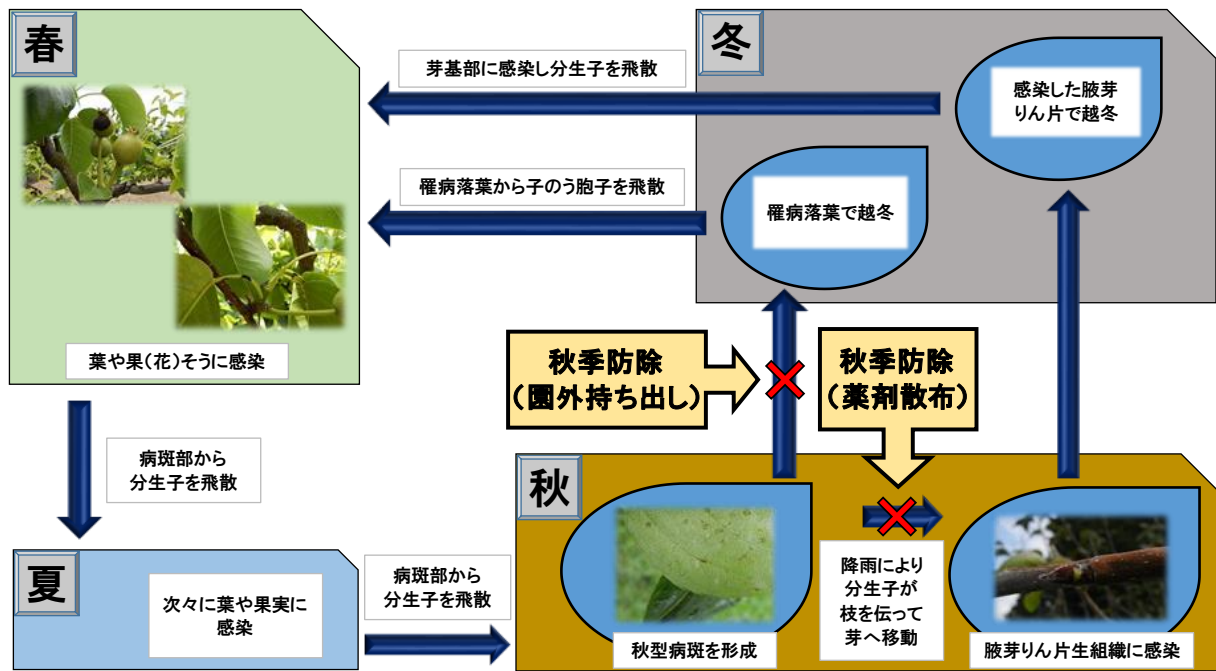


図2 ナシ黒星病菌の生活環と秋季防除

○病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。
 「福岡県病害虫防除所ホームページ」 <http://www.jppn.ne.jp/fukuoka/>

